

令和3年度消防庁予算

令和3年3月
消防庁

令和3年度 消防庁予算の概要

R3当初

一般会計予算額 128.2億円 (前年度126.1億円【3か年緊急対策及びオリバラ予算(特殊要因)除く】)

(オリバラ予算(特殊要因)除き126.2億円)

復興特別会計予算額 2.3億円

R2補正

予算額

44.4億円

(一般会計)

R3当初(128.2) + R2補正(44.4) = 172.5億円 (参考: R2当初163.4億円)

＜主な事業＞

R3当初

R2補正

① 緊急消防援助隊の充実強化

52.6億円 17.9億円

- ・ 緊急消防援助隊設備整備費補助金 49.9億円
- ・ 緊急消防援助隊の車両・資機材等の整備 (補)15.5億円(うち(加)10.7億円)
- ・ 緊急消防援助隊全国合同訓練の実施 (補) 2.4億円

② 様々な災害に対応するための常備消防力等の充実強化

17.1億円 3.7億円

- ・ 消防防災施設整備費補助金 13.7億円
- ・ 救急隊員用の感染防止資器材の確保【新規】(補)3.0億円
- ・ 学生用リモート授業・e-ラーニングシステムの運用 0.6億円

③ 消防団の充実強化

7.3億円 12.9億円

④ 防災情報の伝達体制の充実強化

13.4億円 7.9億円

- ・ 防災行政無線の戸別受信機の導入促進 (補)1.2億円
- ・ Jアラートの運用・保守・更改 4.4億円 (補) 5.1億円

＜消防団関連予算＞ 20.2億円

R3当初

7.3億円 (前年度7.2億円【3か年緊急対策除く】)

R2補正

12.9億円

(1) 地域防災力の中核となる消防団員の活動環境の整備及び装備の充実強化 15.5億円

- ・ 救助用資機材の無償貸付 1.9億円
- ・ 救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車無償貸付 (補)(加) 9.9億円
- ・ 消防団への資器材等の整備に対する補助 0.3億円 (補)(加) 3.0億円
- ・ 準中型免許取得に係るモデル事業【新規】 0.3億円

(2) 地域防災力の充実強化に向けた取組の支援 4.7億円

- ・ 企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団加入促進支援事業 1.3億円
- ・ 消防団への加入促進のための広報の実施 0.6億円
- ・ 消防団の体制に関する中期的な計画策定モデル事業 0.2億円
- ・ 消防団・自主防災組織等の連携支援等 0.6億円



救命ボート



発電機



投光器



排水ポンプ

【無償貸付の資機材】

(加): 5か年加速化対策による事業

(補): R2補正予算

～国民の生命・生活を守る～ 消防防災行政の推進（一般会計）

R3当初
128.2億円

R2補正
44.4億円

(1) 大規模災害に備えた緊急消防援助隊の充実強化

52.6億円 17.9億円

- ・ 緊急消防援助隊設備整備費補助金 49.9億円
- ・ 緊急消防援助隊の車両・資機材等の整備 (補)15.5億円(うち(加)10.7億円)
- ・ 緊急消防援助隊全国合同訓練の実施 (補)2.4億円

(2) 様々な災害に対応するための常備消防力等の充実強化

17.1億円 3.7億円

○常備消防力の充実強化

- ・ 消防の広域化及び連携・協力の推進 0.2億円
- ・ 消防防災施設整備費補助金 13.7億円

○救急体制の確保

- ・ 救急隊員用の感染防止資器材の確保【新規】(補)3.0億円
- ・ #7119の全国展開等による救急需要対策の充実強化 0.3億円

○救急救助・情報収集の高度化及び人材育成

- ・ 救助技術の高度化 0.2億円
- ・ 学生用リモート授業・e-ラーニングシステムの運用 0.6億円

○地方公共団体の災害対応能力の強化

- ・ 地方公共団体の災害対応能力の強化を図る研修等の推進 0.4億円

(3) 地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織等の充実強化

7.3億円 12.9億円

○地域防災力の中核となる消防団員の活動環境の整備及び装備の充実強化

- ・ 救助用資機材の無償貸付 1.9億円
- ・ 救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車無償貸付 (補)(加)9.9億円
- ・ 消防団への資器材等の整備に対する補助 0.3億円(補)(加)3.0億円
- ・ 準中型免許取得に係るモデル事業【新規】 0.3億円

○地域防災力の充実強化に向けた取組の支援

- ・ 企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団加入促進支援事業 1.3億円
- ・ 消防団への加入促進のための広報の実施 0.6億円
- ・ 消防団の体制に関する中期的な計画策定モデル事業 0.2億円
- ・ 消防団・自主防災組織等の連携支援等 0.6億円

(4) 火災予防対策の推進

2.5億円 1.6億円

○火災予防対策の推進

- ・ 火災予防の実効性向上、違反是正推進による安心・安全の確保 0.3億円
- ・ 火災予防分野における各種手続の電子申請等に係る調査検討【新規】(補)0.8億円

○危険物施設等の安全対策の推進

- ・ 危険物施設の効果的な予防保全に係る技術的検討【新規】0.6億円(補)0.2億円
- ・ 危険物輸送の動向等を踏まえた安全対策の検討【新規】0.1億円

(5) 消防防災分野における女性の活躍促進

2.8億円 —

○女性消防吏員の更なる活躍推進

- ・ 女子学生を対象とした職業説明会の開催や女性をターゲットとしたPR広報 0.4億円

○消防団への女性・若者等の加入促進

- ・ 企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団加入促進支援事業(再掲) 1.3億円
- ・ 消防団への加入促進のための広報の実施(再掲) 0.6億円
- ・ 全国女性消防団員活性化大会(活動報告、意見交換会等) 0.2億円
- ・ 女性消防団員等の活躍加速支援事業(シンポジウム開催や学習・啓発教材配布等) 0.4億円

R3当初
128.2億円

R2補正
44.4億円

(6) 防災情報の伝達体制の充実強化

13.4億円

7.9億円

- ・ 防災行政無線の戸別受信機の導入促進 (補)1.2億円
- ・ 災害時の情報伝達体制の強化 0.4億円
- ・ 新技術を活用した情報伝達手段に関する検討【新規】(補)0.5億円
- ・ 防災情報システムの仕様等の検討 (補)(加)1.1億円
- ・ Jアラートの運用・保守・更改 4.4億円 (補) 5.1億円

(7) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた安全・安心対策の推進

4.6億円

—

- ・ NBCテロ等に対する消防・救急体制の構築 3.2億円
- ・ 国民保護共同訓練の充実強化 1.2億円

(8) 消防防災分野における消防用機器等の海外展開の推進及び科学技術の活用

5.8億円

—

- ・ 国際消防防災フォーラムを活用した消防防災インフラシステムの海外展開の推進 0.4億円
- ・ 消火活動困難な火災に対応するための消火手法の研究開発【新規】 0.4億円
- ・ 救急搬送における新型コロナウイルス感染症への対応のための研究開発【新規】 0.4億円

○新型コロナウイルス感染症への対応

3.3億円

8.2億円

- ・ 救急隊員用の感染防止資器材の確保【新規】(再掲) (補) 3.0億円
- ・ NBCテロ等に対する消防・救急体制の構築(うち感染防止資器材の整備)(再掲) 1.0億円
- ・ 消防団への資器材等の整備に対する補助(うち感染防止資器材)【新規】(再掲) 0.3億円
- ・ 緊急消防援助隊の車両・資機材の整備(うち拠点機能形成車)(再掲)(補)(加)1.3億円
- ・ 防災行政無線の戸別受信機の導入促進【新規】(再掲) (補)1.2億円
- ・ 新技術を活用した情報伝達手段に関する検討【新規】(再掲) (補) 0.5億円
- ・ 救急搬送における新型コロナウイルス感染症への対応のための研究開発【新規】(再掲) 0.4億円
- ・ 学生用リモート授業・e-ラーニングシステムの運用(再掲) 0.6億円
- ・ 地方公共団体の災害対応能力の強化を図る研修等の推進(うち「防災・危機管理e-カレッジ」)(再掲) 0.1億円
- ・ 防災情報システムの仕様等の検討(再掲)(補)(加)1.1億円
- ・ 火災予防分野における各種手続の電子申請等に係る調査検討【新規】(再掲)
- ・ 危険物施設の効果的な予防保全に係る技術的検討(うち危険物取扱者の保安講習に関する検討)(再掲) (補) 0.2億円 (補) 0.8億円
- ・ 災害対策本部機能の分散化のための情報通信基盤の整備【新規】 0.6億円

被災地における消防防災体制の充実強化(復興特別会計)

2.3億円

- ・ 消防防災施設災害復旧費補助金(消防団拠点施設等) 0.6億円
- ・ 消防防災設備災害復旧費補助金(消防団車両・自主防災組織資機材) 0.3億円
- ・ 原子力災害避難指示区域消防活動費交付金(消防活動用資機材、応援出動経費等) 0.9億円

(1) 大規模災害に備えた緊急消防援助隊の強化

① 緊急消防援助隊設備整備費補助金

49.9億円(令和2年度 49.9億円)

「緊急消防援助隊基本計画」に基づき部隊を増強させるため、車両・資機材等を整備

※令和2年4月1日時点 6,441隊

② 緊急消防援助隊の車両・資機材等の整備 補15.5億円(うち加10.7億円)

- 拠点機能形成車(1台) 補加1.3億円
- 情報収集活動用ドローン(37台) 補加1.2億円
- 化学剤、生物剤検知器等(6式) 補加5.1億円
- 放射線防護全面マスク(5,835式) 補加2.6億円
- 映像伝送装置(31台) 補加0.6億円
- ヘリ動態管理システム(1式) 【新規】補4.8億円

③ 緊急消防援助隊全国合同訓練の実施

補2.4億円(令和2年度 0.2億円)

南海トラフ地震等国家的な非常災害に備えた対応力強化に向けて、地域レベルでは実施できない課題克服型の実践的な全国合同訓練を実施

④ 航空消防防災体制の安全性向上策・充実強化策に関する調査・検討

0.5億円(令和2年度 0.4億円)

消防防災ヘリコプターの効率的・効果的な運用及び安全運航の確保に向けて、操縦士の養成・確保方策や消防庁ヘリコプターの活用を含めた共同運航体制の調査・検討等を実施

分散宿営ができる個別テントやトイレ等の長期間の消防応援活動に対応した資機材を搭載



【拠点機能形成車】



【放射線防護全面マスク】



【緊急消防援助隊全国合同訓練】

(2) 様々な災害に対応するための常備消防力等の充実強化

(a) 常備消防力の充実強化

① 市町村の消防の広域化及び連携・協力の推進 0.2億円(令和2年度 0.2億円)

各地域の多様な消火・救急・救助ニーズに的確に対応するため、消防の広域化や消防業務の一部の連携・協力など、地域の実情に応じた柔軟な対応を推進

② 消防防災施設整備費補助金 13.7億円(令和2年度 13.5億円)

住民生活の安心・安全を確保するため、防火水槽（耐震性貯水槽）等の消防防災施設の整備を促進



【耐震性貯水槽】

(b) 救急体制の確保

① 救急隊員用の感染防止資器材の確保【新規】^補 3.0億円

新型コロナウイルス感染症への備えとして、救急隊が使用する感染防止資器材について、国が必要数を一括購入し、必要とする消防本部に対し配布することにより、円滑な救急活動を支援する体制を整備

② #7119の全国展開等による救急需要対策の充実強化

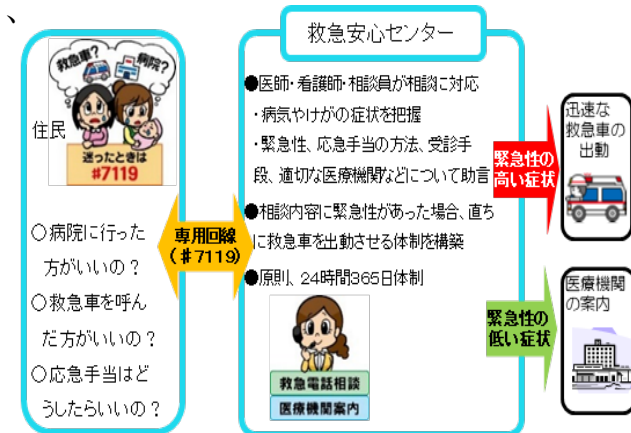
0.3億円(令和2年度 0.2億円)

住民からの電話救急相談を受け付ける救急安心センター事業（#7119）の全国展開を推進するとともに、5Gなどの新たな技術を用いた救急活動の効率化・高度化についての検討を実施

③ 消防指令システムの高度化等に向けた検討

^補0.7億円(令和2年度 0.1億円)

緊急通報を受けて消防隊・救急隊等への出動指令を行う消防指令システムについて、高度化等に向けた検討を行い、次世代システムの試作・実証等を実施



【救急安心センター事業（#7119）のイメージ図】

(2) 様々な災害に対応するための常備消防力等の充実強化

(c) 救急救助・情報収集の高度化及び人材育成

① 救助技術の高度化 0.2億円(令和2年度 0.2億円)

大規模な自然災害を含む各種災害に対応するため、救助技術の高度化についての検討を実施

② ドローン運用推進事業 0.1億円(令和2年度 0.1億円)

災害時の効果的・効率的な情報収集に資するドローンの運用に関するアドバイザーの育成研修及び普及啓発を実施

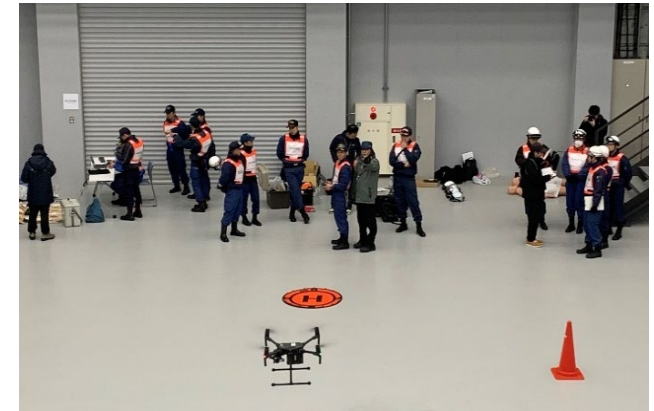
③ 学生用リモート授業・eラーニングシステムの運用 0.6億円(令和2年度 0.2億円)

感染症対策等のため、消防大学校において、インターネットを活用したリモート授業が行える設備・体制の整備。また、eラーニングシステムによる事前受講を実施する学科等を拡充し、コンテンツを新規に制作するとともに、内容の改訂・更新を実施

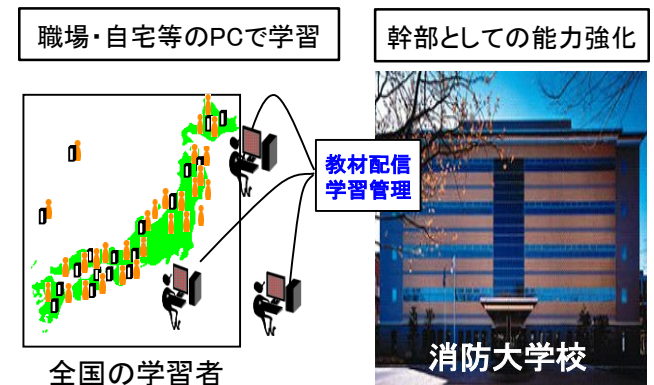
(d) 地方公共団体の災害対応能力の強化

① 地方公共団体の災害対応能力の強化を図る研修等の推進 0.4億円(令和2年度 0.3億円)

地方公共団体の受援計画・業務継続計画の策定に係る研修会、市町村長等を対象とした災害訓練、市町村長や地方公共団体の危機管理等責任者を対象とした研修、感染症対策にも資する「防災・危機管理e-カレッジ」のコンテンツの充実等を実施



【ドローン運用アドバイザー育成研修】



【インターネットを活用したリモート授業・e-ラーニング】

(3) 地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織等の充実強化

(a) 地域防災力の中核となる消防団員の活動環境の整備及び装備の充実強化

① 救助用資機材の無償貸付 1.9億円(令和2年度 1.9億円)

消防団の災害対応能力の向上のため、救命ボート、発電機、投光器、排水ポンプ等の救助用資機材の消防団に対する無償貸付を実施

【無償貸付の資機材(例)】



発電機



投光器

【救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車】



② 救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車無償貸付 補加 9.9億円

救助用資機材等を搭載した消防ポンプ自動車の消防団に対する無償貸付を実施



救命ボート



排水ポンプ

【補助対象資器材等(例)】



AED



油圧切断機



エンジンカッター



チェーンソー



ジャッキ



トランシーバー

③ 消防団への資器材等の整備に対する補助

0.3億円 補加 3.0億円

○感染防止資器材【新規】0.3億円

○救助用資機材等【拡充】補加 3.0億円

消防団員の新型コロナウイルス感染症対策として必要となる資器材や、救助用資機材等の整備に対して補助を実施



発電機



投光器



救命ボート、救命胴衣等



排水ポンプ



防護衣等

④ 準中型免許取得に係るモデル事業【新規】0.3億円

普通免許保有者の消防団員が増加し、将来的に消防団活動に支障が生じる事態に備え、地域の実情に応じた準中型免許取得に係るモデル事業を実施



マスク

感染防止衣等

消毒液

ドローン

※破線囲みの資器材等は、新規・拡充メニュー

(3) 地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織等の充実強化

(b) 地域防災力の充実強化に向けた取組の支援

① 企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団加入促進支援事業 1.3億円(令和2年度 1.2億円)

事業所の従業員や女性・若者等の消防団への加入を促進するため、地方公共団体が地域の企業や大学等と連携して行う取組を支援



【企業との連携(建設業に従事する消防団員の防災訓練参加)】

② 消防団への加入促進のための広報の実施 0.6億円(令和2年度 0.5億円)

消防団への加入を促進するため、消防団PRムービーコンテスト、ポスター、SNS、雑誌・広告等を活用した全国的な広報活動を実施



【企業向けリーフレット】

③ 消防団の体制に関する中期的な計画策定モデル事業 0.2億円(令和2年度 0.2億円)

将来の地域の人口見通しや災害発生のおそれ等を踏まえ、消防団の体制に関する中期的な計画の策定を支援

④ 消防団・自主防災組織等の連携支援等 0.6億円(令和2年度 0.6億円)

消防団又は自主防災組織が地域の防災組織等と連携して行う事業を支援するとともに、自主防災組織等のリーダーを育成するための研修会等を実施



【消防団と自主防災組織の連携(消防団と自主防災会との図上訓練)】 8

(4) 火災予防対策の推進

(a) 火災予防対策の推進

- ① 火災予防の実効性向上、違反是正推進による安心・安全の確保
0.3億円(令和2年度 0.3億円)

各種建築物等における防火安全対策の実態調査等による火災予防の実効性向上及び規制体系の検証・見直しや立入検査による消防法令に係る違反是正等を推進



【R1.10月 沖縄県首里城火災
(那覇市消防局提供写真)】



【R2.4月 宮城県岩沼市に
おける倉庫火災】

- ② 火災予防分野における各種手続の電子申請等に係る調査検討【新規】**補**0.8億円

消防本部における行政手続のオンライン化及び新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、火災予防分野における電子申請等の標準モデルを構築するため、業務フローや標準様式の検討及び実証実験を実施



【デジタル技術を活用した効果的な予防保全の例
(ドローンを用いたタンク内部の点検)】

(b) 危険物施設等の安全対策の推進

- ① 危険物施設の効果的な予防保全に係る技術的検討【新規】 0.6億円 **補**0.2億円

危険物施設の維持管理の高度化・質の向上のため、デジタル技術を活用した効果的な予防保全に係る方策、危険物取扱者の保安講習の充実、屋外貯蔵タンクの津波・

水害対策として有効な工法について検討を実施

- ② 危険物輸送の動向等を踏まえた安全対策の検討【新規】 0.1億円

危険物輸送の動向等を踏まえた安全かつ円滑な輸送の調査・検討を実施

- ③ 石油コンビナート等における防災・減災対策

0.9億円 **補**0.5億円(令和2年度 1.4億円)

AI・IoTや地震被害高精度予測技術等の先進技術を活用することにより、石油コンビナート等における災害対策の充実強化を推進



【石油コンビナート等自衛防災組織による防災訓練】9

(5) 消防防災分野における女性の活躍促進

(a) 女性消防吏員の更なる活躍推進

① 女性消防吏員の更なる活躍推進 0.4 億円 (令和2年度 0.4億円)

消防吏員を目指す女性の増加を図るため、女子学生を対象とした職業説明会の開催や消防本部に対する女性消防吏員活躍推進アドバイザーの派遣、先進的取組の支援（モデル事業）に加え、ターゲットを明確にした女性消防吏員PR広報等を強化



【女性消防吏員採用ポスター】 【女性消防団員募集ポスター】

(b) 消防団への女性・若者等の加入促進

① 企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団加入促進支援事業(再掲) 1.3億円(令和2年度 1.2億円)

② 消防団への加入促進のための広報の実施(再掲) 0.6億円(令和2年度 0.5億円)

③ 全国女性消防団員活性化大会 0.2億円(令和2年度 0.2億円)

④ 女性消防団員等の活躍加速支援事業 0.4億円(令和2年度 0.4億円)

女性や若者等の消防団への加入を促進するため、地方公共団体が地域の企業や大学等と連携して行う取組への支援、ポスター等を活用した全国的な広報活動、全国女性消防団員活性化大会や地域防災力向上シンポジウム等を開催

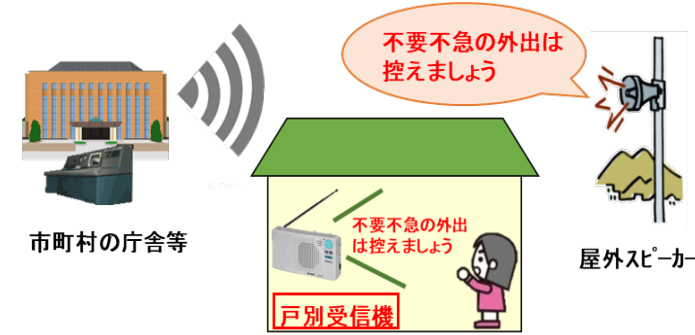


【企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団加入促進支援事業の取組イメージ】

(6) 防災情報の伝達体制の充実強化

① 防災行政無線の戸別受信機の導入促進 ⑨1.2億円

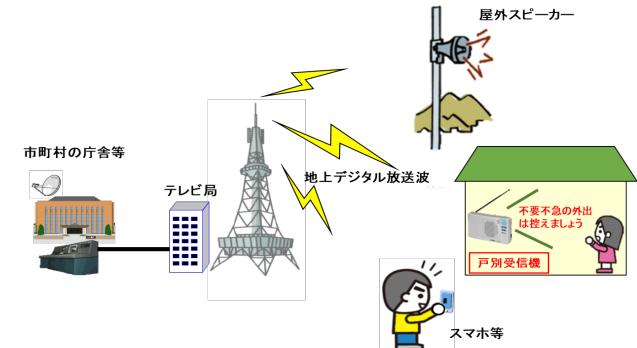
住民に対して、感染症予防対策に関する自治体からのメッセージやアラートを確実に伝達するとともに、風水害等において適時・的確な防災情報を伝達することができるよう、戸別受信機の配備が進んでいない市町村を対象に無償貸付による配備の支援を行うとともに、実機を用いたデモンストレーションを行うなど、その導入を促進



【戸別受信機の導入促進(イメージ図)】

② 災害時の情報伝達体制の強化 0.4億円(令和2年度 0.2億円)

地方公共団体における戸別受信機等の災害情報伝達手段の整備に係る課題共有・解決を図るため、通信等の技術に関する専門的な知見を有するアドバイザーを派遣



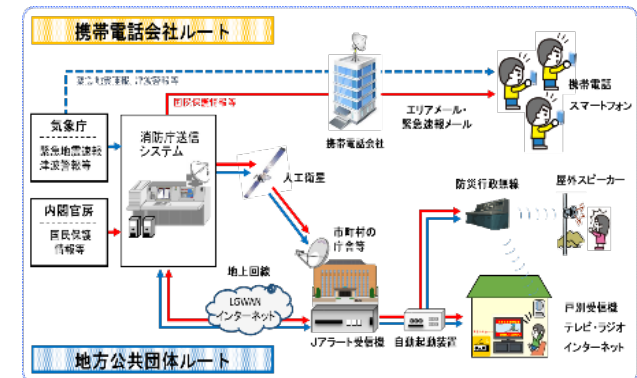
【放送波を用いた情報伝達手段(イメージ図)】

③ 新技術を活用した情報伝達手段に関する検討【新規】⑨0.5億円

感染症予防対策に関する自治体からのメッセージやアラートの確実な伝達に向けて戸別受信機の配備を促進するため、近年新たに技術開発が進められ、比較的安価に戸別受信機を導入可能な放送波を用いた伝達手段(I-PDC)について、実証し、技術的ガイドラインを作成

④ 防災情報システムの仕様等の検討 ⑨⑩1.1億円(令和2年度 0.3億円)

大規模災害時に国及び地方において、人的・物的被害等の被災情報を円滑に収集・共有できる体制を構築するため、防災情報システムの仕様等の検討を実施



【Jアラート発信(イメージ図)】

⑤ Jアラートの運用・保守・更改 4.4億円 ⑨⑩5.1億円(令和2年度 4.9億円)

近年、大規模地震、豪雨等の自然災害が多発する状況を受け、地方公共団体等のニーズを踏まえ、国民に対する基幹的な情報伝達手段であるJアラートの機能を強化

(7) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等 に向けた安全・安心対策の推進

① NBCテロ等に対する消防・救急体制の構築 3.2億円(令和2年度 7.2億円)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、NBCテロ等に対する消防・救急体制に万全を期すため、応援体制の構築（各会場において40隊200名の警戒体制を想定）を推進

※オリンピックは42競技会場、パラリンピックは21競技会場



② 国民保護共同訓練の充実強化 1.2億円(令和2年度 1.2億円)

テロへの対処能力の向上のため、27団体（予定）において国民保護共同訓練を実施



【ラグビーワールドカップ2019における消防特別警戒】

③ 国民保護体制の整備 0.2億円(令和2年度 0.2億円)

地方公共団体による避難実施要領のパターン（想定事例）作成を促進



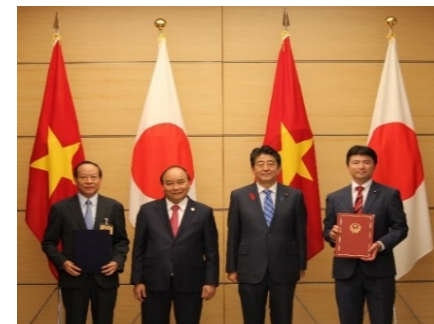
【国と地方公共団体の共同訓練】

(8) 消防防災分野における消防用機器等の海外展開の推進及び科学技術の活用

(a) 消防用機器等の海外展開の推進

- ① 日本規格に適合した消防用機器等の競争力強化
0.2億円(令和2年度 0.2億円)
- ② 国際消防防災フォーラムを活用した消防防災インフラシステムの
海外展開の推進 0.4億円(令和2年度 0.4億円)

日本製品の海外展開を推進するため、東南アジア諸国に対し日本の規格・認証制度の普及を推進するとともに、日本企業に製品を紹介する場を提供



【ベトナムと消防分野における協力覚書を締結】



【フォーラムにおいてタイ内務省
防災局幹部へ日本製品を紹介】

(b) 科学技術の活用による消防防災力の強化

- ① 消防防災科学技術研究推進制度 1.3億円(令和2年度 1.3億円)

新たな技術の研究開発に対する支援に加え、製品化に係る取組についても支援することにより、実用化を推進



【消防防災科学技術研究推進制度の研究
成果(高水圧駆動カッター)】

(8) 消防防災分野における消防用機器等の海外展開の推進及び科学技術の活用

② ドローン等を活用した画像分析等による災害(土砂災害等)時の 消防活動能力向上に係る研究開発 0.6億円(令和2年度 0.5億円)

上空からの画像情報分析による救助活動の迅速化や夜間における情報収集の実施など、ドローン等を活用した消防活動能力向上に係る研究開発を実施

③ 消火活動時の殉職・受傷事故を防止するための研究開発 0.4億円(令和2年度 0.1億円)

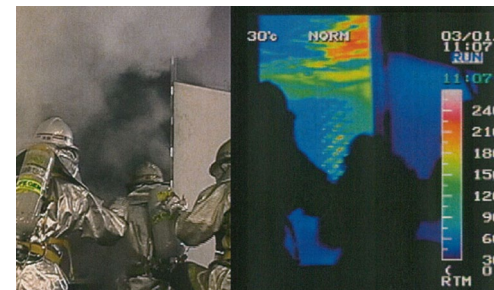
消火活動時における殉職・受傷事故の防止を目的として、火災シミュレーション技術、無人機の飛行制御技術、および、消防隊の放水方法の研究開発を実施

④ 消火活動困難な火災に対応するための消火手法の研究開発【新規】 0.4億円

消火活動困難性が極めて高く、鎮火に多くの日数を要している大規模倉庫火災など、消火活動困難な火災を迅速に消火するための消火手法の研究開発を実施

⑤ 救急搬送における新型コロナウイルス感染症への対応のための研究開発 【新規】 0.4億円

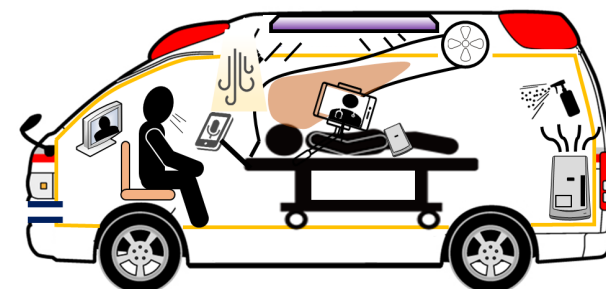
無症状者を含む新型コロナウイルス感染者を救急搬送する際の感染拡大防止対策及び感染拡大期を含む救急出場要請件数増大期における救急搬送時間短縮手法の研究開発を実施



【火災室侵入時のサーマルカメラの画像】



【静岡県倉庫火災の様子】



【感染防止対策を講じた救急車のイメージ】

○新型コロナウイルス感染症への対応

<感染症に対応する消防防災力の強化>

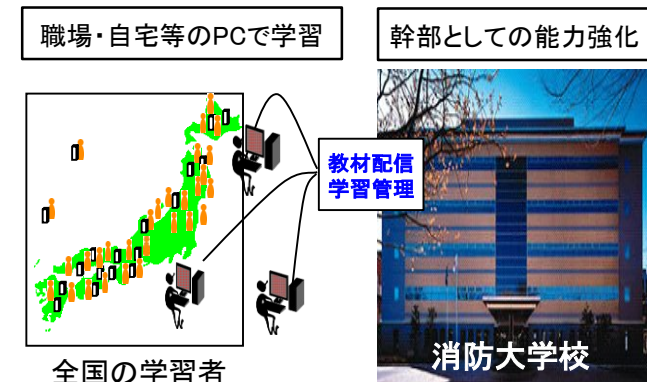
- ① 救急隊員用の感染防止資器材の確保【新規】(再掲) 補 3.0億円
- ② NBCテロ等に対する消防・救急体制の構築
(うち感染防止資器材の整備)(再掲) 1.0億円
- ③ 消防団への資器材等の整備に対する補助【新規】
(うち感染防止資器材)(再掲) 0.3億円
- ④ 緊急消防援助隊の車両・資機材等の整備
(うち拠点機能形成車)(再掲) 補加 1.3億円
- ⑤ 防災行政無線の戸別受信機の導入促進(再掲) 補 1.2億円
- ⑥ 新技術を活用した情報伝達手段に関する検討【新規】(再掲) 補 0.5億円
- ⑦ 救急搬送における新型コロナウイルス感染症への対応のための
研究開発【新規】(再掲) 0.4億円

<消防デジタル関係>

- ① 学生用リモート授業・e-ラーニングシステムの運用(再掲)
0.6億円(令和2年度 0.2億円)
- ② 地方公共団体の災害対応能力の強化を図る研修等の推進(再掲)
(うち「防災・危機管理e-カレッジ」) 0.1億円(令和2年度 0.1億円)
- ③ 防災情報システムの仕様等の検討(再掲) 補加 1.1億円
- ④ 火災予防分野における各種手続の電子申請等に係る調査検討(再掲)
【新規】 補 0.8億円
- ⑤ 危険物施設の効果的な予防保全に係る技術的検討(再掲)
(うち危険物取扱者の保安講習に関する検討) 補 0.2億円
- ⑥ 災害対策本部機能の分散化のための情報通信基盤の整備【新規】 0.6億円



【資器材の備蓄による救急活動支援のイメージ図】



【インターネットを活用したリモート授業・e-ラーニング】

被災地における消防防災体制の充実強化

(a) 被災地における消防防災施設の復旧への支援

- ① 消防防災施設災害復旧費補助金 0.6億円（令和2年度 3.2億円）
- ② 消防防災設備災害復旧費補助金 0.3億円（令和2年度 0.9億円）

東日本大震災により被害を受けた消防団拠点施設や消防車両等の消防防災施設・設備の復旧を支援



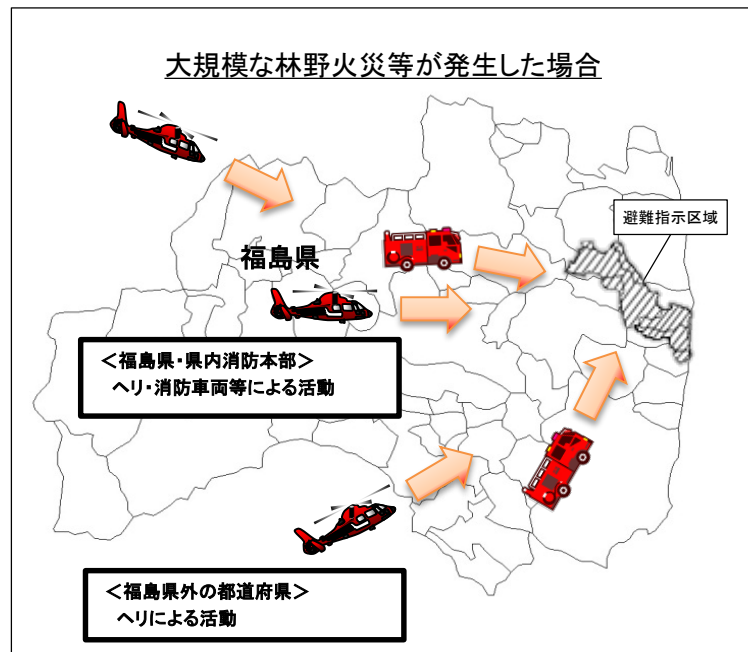
【消防庁舎復旧事業】
大船渡地区消防組合大船渡消防署
三陸分署綾里分遣所

(b) 被災地における消防活動の支援

- ① 原子力災害避難指示区域消防活動費交付金
0.9億円（令和2年度 2.8億円）

避難指示区域における大規模林野火災等の災害に対応するための消防活動等を支援

- ア 避難指示区域の消防活動に伴い必要となる施設・設備の整備等を支援
- イ 福島県内消防本部の消防車両等及び福島県外からのヘリコプターによる消防応援活動に要する経費を支援
- ウ 福島県内外の消防本部等の消防応援に係る訓練の実施に要する経費を支援



【被災地における消防活動の支援】